

オフィスや家庭での一層の節電をお願いします

東京電力管内、東北電力管内では、今年の夏、日中の電力需要が高い時間帯に、大幅に電力が不足することが懸念されます。

日本鉄鋼連盟は、この度「電力対策自主行動計画」を策定し、工場のみならず、オフィスや家庭においても、節電の徹底を図ることといたしました。特に、オフィスや家庭における節電は、一人一人の節電意識が最も重要です。

会員各位におかれましては、夏期の電力不足を乗り越えるべく、職場や家庭における日々の暮らしの中で、一層の節電にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

日本鉄鋼連盟「電力対策自主行動計画」の概要

1. 電力需要面の対策

- ◇政府の電力需給緊急対策本部決定に基づく削減目標を踏まえ、各事業所の実態に即した節電を実施
- ◇オフィス等における省電力の徹底
- ◇従業員、家庭への節電の働きかけ
- ◇電力会社への電力供給の増加

2. 供給面の対策

- ◇需給が逼迫する夏期に、自家発、共同火力、IPPを最大限活用できる体制とするため、震災により停止している発電設備の早期復旧、設備容量に余力がある発電設備の増出力運転等の取組みを推進する

オフィス等における節電対策の例

- ◎空調温度の引き上げ
- ◎照明の削減
- ◎OA機器の使用削減
- ◎エレベーター稼働台数の削減
- ◎クールビズの徹底



家庭における節電対策の例

- ◎空調温度の引き上げ
- ◎扇風機の利用(エアコンの代わりに)
- ◎照明の消灯(昼間は使わない)
- ◎家屋の遮熱性向上(すだれやカーテンの利用)
- ◎待機電力の削減(使わない家電はプラグをコンセントから抜く)
- ◎節水の推進
- ◎家族はなるべく一部屋で団らんを

